

子どもたち一人ひとりがもっている力を
安心して発揮できる連携の在り方

～幼保での学びを生かす
授業を目指して～

矢向地区
ゆめいろ保育園
矢向小学校

推進テーマの設定理由

- 園と小学校の担任同士がより連携をすることで、幼児・児童の育ちや学びの連続性をもたせる。
- スタートカリキュラムを充実させることで、小学校に入学してきた子どもたちが安心して学校生活を送れるようにする。
- 子ども主体の活動の場を設定することで、子ども自身が学校とのつながりを感じたり自己を発揮して取り組んだりできるようにする。

以上のことを目指して、研究推進を行う。

推進内容

- ①子ども観の共有(打ち合わせ)
- ②子どもの実態把握
- ③スタートカリキュラムの実施
- ④交流の場の設定

今年度の重点課題

目指す子どもの姿を共有

子ども主体の交流の場を増やす

園や学校・園児や児童の実態を踏まえ、交流の在り方を工夫する。

連携事業の実際

①子ども観の共有(打ち合わせ)



- 研究テーマ、重点課題の確認
- 育てたい子どもの力
「他者との関わりの中で、関心の幅を広げる力」
- 交流計画の相談
- 施設見学

目指す子ども像を共有

連携事業の実際

②子どもの実態把握(スタートカリキュラム～園の先生方によるなかよしタイム～)



スタートカリキュラムのなかよしタイムに、園の先生方に子どもたちとのレクレーションルームを設けました。

園や学校の実態や雰囲気を知る

連携事業の実際

②子どもの実態把握(保育園参観)



- ・自分のことは自分で行う力
- ・自分たちで考えて行動する姿
- ・友達の話をしっかり聴く姿

年長児って、こんなにたくさん
ことができるんだ。

園や学校の実態や雰囲気を知る

連携事業の実際

③スタートカリキュラムの実施



子ども主体の場を増やす

連携事業の実際

③スタートカリキュラムの実施(学校探検の様子)

このほんを
ぼくたちもよむことが
できますか？



ここは、
なんのおへやかな？



子ども主体の場を増やす

連携事業の実際

④交流の場の設定(交流会)



小さい子となかよくなりたいな。

わたしたちのつくった、
なつあそびをいっしょにやりたい。

こくごでやった、ペープサートをつ
かったおんどくげきを見せたいな。

子ども主体の交流の場を増やす

連携事業の実際

④交流の場の設定(給食へのご招待)

給食おいしかったよ。

食べる前に、劇やダンスをして、給食のことを教えたよ。

小学校の給食は心配だったけど、楽しみのになったよ。



子ども主体の交流の場を増やす

園や学校・園児や児童の実態を踏まえ、交流の在り方を工夫する。

成果と課題

- 保育園での学びを知り、園での学びを生かし、活動を工夫した交流

○成果

- お互いの園や学校の実態を知ることで、子どもたちの話し合いの中で、保育園で学んできたことをもとに、活動を考える子どもたちの姿を大切にし、より接続を意識した活動を工夫することができた。
- 園児は交流を重ねたことによって、学校に対する不安が期待へと変わった。

○課題

- 小学校教員が、園児にも学びが積み重なっていることを理解し、交流の中で園児がこれまで学んできたことを基に考え行動する機会を、もっと取り入れられたらよかった。
- かかわっている幼稚園・保育園が多数あるので、日程や活動の行い方の相談が難しかった。